がん化学療法指示書

登録番号 362
作成日 2022/12/14

レジメン名	EC+ペムブロリズマブ療法（6週毎）
診療科・対象疾患	（外）ホルモン受容体陰性かつHER2陰性で再発高リスクの乳がんにおける術前療法
投与間隔	6週毎
投与サイクル数	2サイクル

Chemo Navi

薬剤名	成分名	投与量	投与日
キイトルーダ	ペムブロリズマブ	400mg/body	Day1
エピルビシン	エピルビシン	90mg/㎡	Day1、22
シクロホスファミド	シクロホスファミド	600mg/㎡	Day1、22

治療内容 注射

滴下順	抗癌剤	薬剤（成分名）	投与量	時間	投与方法	day1	…	…	…	…	…	day22	…	…	…	…	…	day42
Rp1		生理食塩液	100mL	任意	ルート確保・フラッシュ用	●												
Rp2		パロノセトロンバック	1袋	15分	点滴静注メイン	●												
		デキサート注（6.6mg）	2瓶															
Rp3	癌	**キイトルーダ（ペムブロリズマブ）**	400mg	30分	点滴静注メイン	●												
		生理食塩液	100mL															
		総量100mLにする																
Rp4		生理食塩液	50mL	15分	点滴静注メイン	●												
					経過観察用													
Rp5	癌	**エピルビシン**	90mg/㎡	10分	点滴静注メイン	●												
		生理食塩液	50mL															
Rp6	癌	**エンドキサン**	600mg/㎡	30分	点滴静注メイン	●												
		生理食塩液	100mL															

滴下順	抗癌剤	薬剤（成分名）	投与量	時間	投与方法	day1	…	…	…	…	…	day22	…	…	…	…	…	day42
Rp1		生理食塩液	100mL	任意	ルート確保・フラッシュ用							●						
Rp2		パロノセトロンバック	1袋	15分	点滴静注メイン							●						
		デキサート注（6.6mg）	2瓶															
Rp5	癌	**エピルビシン**	90mg/㎡	10分	点滴静注メイン							●						
		生理食塩液	50mL															
Rp6	癌	**エンドキサン**	600mg/㎡	30分	点滴静注メイン							●						
		生理食塩液	100mL															

その他必要薬剤	day1点滴開始時にアプレピタントカプセル125mg　1カプセル服用 day22 点滴開始1時間前にアプレピタントカプセル125mg　1カプセル服用 day2-3、23-24　アプレピタントカプセル80mg　1カプセル分1　朝食後服用 day2-4、23-25　デカドロン錠4mg　2錠分2　朝昼食後服用
総投与時間	day1：1時間50分、day22:1時間5分
血管外漏出リスク	エピルビシン：壊死性抗がん剤 エンドキサン：炎症性抗がん剤 キイトルーダ（ペムブロリズマブ）：非壊死性抗がん剤
投与時の注意事項	キイトルーダ（ペムブロリズマブ）、パクリタキセルはフィルター付きルート要
備考欄	**・2サイクル終了後、手術実施し、術後補助療法としてしてペムブロリズマブ療法を実施する。** ・Infusion Reaction Grade2の場合、キイトルーダ（ペムブロリズマブ）の投与を直ちに中止する。1時間以内に回復する場合には、投与速度を50%減速して再開する。 ・Infusion Reaction経験例では、次回より投与30分前に以下薬剤で前処置を行う。 レスタミンコーワ10mg　5錠 アセトアミノフェン300mg　2錠